

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年4月1日

事業所名 こどもプラス兵庫教室

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、 工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	3	0	利用定員が運動コーナー、宿題・おやつコーナー、おもちゃ遊びコーナーなど一室を区分して使用する時は、トラブルが発生しやすい。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	3	0	人員配置や安全基準が満たされている。
	3	事業所の設備等について、安全を配慮した措置・バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	4	0	トイレなど車いす使用者には介助が難しい場所がある。安全基準が満たされており、車椅子介助も対応できるような間取りになっている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	1	0	内容の悪化が明らかになった際、改善、再発防止が必要な点を指摘し、業務改善措置を行い、改めていくよう努力している。この一年を省みると反省する事が多い。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	1年に1回、評価表をHPで公開した際、保護者の意向を把握し、子どもの育ちや子育てを支えるような改善を行っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	0	1年に1回、自己評価の結果をHPで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2	1	今後検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	1	0	オンラインなどで本部の研修に参加している。毎月、職員向けの動画研修やオンライン研修、資料配布などが行われているが、特定の人に限られている。運動療育の研修は、施設を借りて行われている。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	事前評価を十分に行い、特定の人が一連の過程で作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	0	標準化されたツールを活用し、内容を確認して共通理解を図っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	0	一人のスタッフに偏らないように行っている。チームで行う場合もある。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1	0	一ヶ月のねらいを定め、毎日の運動を工夫している。子どもの発達に合わせ、子どもの最善の利益を考えた上で工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1	0	長期休暇は、イベントの内容によって課題を決めている。時期や季節に応じて支援を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	その時々状況に応じて個別活動と集団活動を継続的に提供している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2	0	必ずミーティングを行い、役割分担や支援について共有している。

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2	0	振り返りを行う事により、更に有用な療育が提供できるようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1	0	毎日記録をし、注意事項等は情報共有して、そのうえで支援内容や方法を検討しています。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1	0	定期的モニタリングを実施し、児童や家族のニーズに合っているか判断し、保護者との面談の内容を踏まえて、今後の計画を立てている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4	2	0	ガイドラインに沿って支援を行っている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1	0	管理者や児童発達支援管理責任者など、担当職員が参加しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1	0	保護者へトラブルの件があまり伝わっていないことや管理者へ報告するのが遅くなった為、今後はその場での連絡することに気をつけていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	4	1	現在は必要な子供がいないため、必要に応じて対応していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	3	1	新一年生の利用開始に向けて関連機関との共有を行う。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3	1	必要に応じて行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0	4	2	助言や研修は受けていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	2	2	保育園とハロウィンパーティーで交流を行った。他施設との交流や健常児と共に活動する機会は少ない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	3	特定の人が参加している。今後は参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	送迎時や連絡ノートなどで保護者と連絡をとりあっている。利用状況の検証を定期的に行い、特定の人が担当者会議にて関係機関や保護者との共通理解を図っている。利用者に問題が発生した場合、直ちに保護者へ知らせるように心掛けている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2	1	保護者からのニーズがあった場合に、面談やラインを行っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1	0	契約時に行っている。

保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	1	0	面談や電話・ラインなどで支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	2	4	現在は行えていない。望まれる保護者があまりいない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2	0	苦情受付対応マニュアルに沿って対応する。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1	0	月1回、来月の行事予定、連絡体制などの会報を発行している。インスタグラムなどで発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	5	1	0	鍵付き書庫で保管し、破棄する書類についてはシュレダーにかけている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1	0	連絡ノートやお迎え時に保護者と情報をとっている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1	1	地域のボランティアや近隣の高校生ボランティアが教室へ実習に来てくれる。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	2	0	定期的に行っている。それぞれのマニュアルに沿った内容を周知させるために、手順などを体系的にまとめた資料を活用できる。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1	0	定期的に行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	障害者虐待防止や障害者の権利利益の擁護に資することを目的とした動画研修などを1年に数回受けている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	2	0	現在、身体拘束に該当する児童はいませんが、必要に応じて説明などを徹底していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	0	2	該当する児童がいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	共有している。予測可能なリスクマネジメントは事前に取り扱うことを心掛けている。